

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	学校法人福岡学園 福岡看護大学
代表者名	窪田 恵子
所在地	814-0193 福岡市早良区田村 2 丁目 15 番 1 号
電話番号	092-801-0486
ホームページ	https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/

Well-being 向上 に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性への理解のため研修会等を通して、個性を尊重しあう職場環境の整備に取り組んでいる。 ・家庭と仕事との両立及び健康管理を支援する環境づくりを行い、ワークライフバランスを推進している。 ・ICT の活用により大学内での対面業務だけでなく、Web を活用した会議や授業を実施し、多様な働き方の促進をしている。 ・ハラスメント防止等のガイドラインを定め、教職員に周知し、ハラスメント防止等対策委員会、相談員などの設置により、ハラスメント防止等の教育・相談体制が整備されている。 ・ハラスメント防止等の研修会を開催し、教職員の人権が尊重される環境づくりに取り組んでいる。 ・出退勤時間管理によって長時間労働にならないよう働きかけており、健康診断、ストレスチェックを実施している。 ・教職員のキャリア開発を支援するために、研修の受講奨励や研究機関への派遣など、職員の適切な能力開発、教育の機会を提供している。 		
アンケート実施	<input type="radio"/>	アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。	○	○		・身体的、精神的な問題を抱える学生への個別の配慮の取り組みと学修環境の整備を行っている。 ・多様性への理解を深めるための授業や研修会等を通して、個性を尊重しあう看護職の育成と、職場環境の整備に取り組んでいる。						○	○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・家庭と仕事との両立、及び健康管理を支援する環境づくりを行っており、ワークライフバランスを推進している。 ・ICTの活用により、大学内での対面業務だけでなく、Webを活用した会議や授業を実施している。						○	○	○									
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・ハラスメント防止等のガイドラインを定め、学生及び教職員に周知し、ハラスメント防止等対策委員会、相談員などの設置により、ハラスメント防止等の教育・相談体制が整備されている。 ・ハラスメント防止等の研修会を開催し、学生及び教職員の人権が尊重される環境づくりに取り組んでいる。						○	○	○						○			
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・出退勤時間管理によって長時間労働にならないように働きかけており、健康診断・ストレスチェックを実施している。 ・学生のチューーター制度を整備し、チューーター教員による面談を定期的に実施し、必要に応じて学生相談室や専門医等の受診を促し、学生の健康に関するサポート支援を実施している。 ・COVID-19感染防止対策について、学生の自治組織である学友会が全館放送を毎日行い、学生間での注意喚起を行っている。						○	○	○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受け入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・教職員のキャリア開発を支援するために、研修の受講奨励や研究機関への派遣など、職員の適切な能力開発、教育の機会を提供している。 ・地域住民のwell-beingを支援するために、地域の看護職者への現任教育への協力と支援を実施している。 ・高校生のキャリア開発を支援するために、高大連携協定校との連携教育プログラムを実施している。 ・看護職者となる人材及び看護教育者・看護管理者となるすべての人のwell-beingを目指した人材の育成を実施している。						○	○	○									
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・SDGsの実現に向けて、学生・教職員に対して積極的なリユースの促進、及び開発途上国へのリサイクル提供を推進している。 ・有害物質・薬物・感染に関する管理及び廃棄物処理等に関する教育を実施している。						○	○		○	○	○	○	○	○	○		
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○		・節電への取り組みとしてクール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、温室効果ガスの排出削減の実施している。							○		○	○	○	○	○	○	○		
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○		・教育教材においては、再生紙素材、リサイクル商品など、天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。 ・限りある天然資源に配慮し、ペーパーレス会議を推進している。						○			○	○	○	○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・節水の呼びかけや節水型機器の設置、及び上水と井水の混合水を活用し、水の有効利用と節水に取り組んでいる。 ・水資源の必要性と重要性の教育の実施している。						○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○		・提供する教育の質を確保するため、学生のニーズ調査を実施し、その結果をもとに、教育環境の改善に務めている。 ・大学及び臨地実習施設の関係者の安全を保証するために、ガイドラインを整備し、学内委員会及び実習施設との協議を定期的に行う仕組みを構築している。						○				○							
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・社会に開かれた大学として公開講座等の生涯教育事業、医療施設・職能団体などへの教育支援、学生によるボランティア活動、教育研究成果の継続的な発信などを通して地域社会への貢献活動を実施している。 ・人々のwell-beingの実現に向けた、企業、患者会、一般社団法人との共同研究と事業を推進している。						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			・個人情報などの保護に関するガイドラインを策定し、授業や研修会を通して、情報管理のルールを周知徹底している。 ・大学内の情報システムにおいて情報漏洩防止に対するセキュリティ対策を実施している。															○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			・個人情報の保護、医療安全等の法令遵守が確実に行われるよう、ガイドライン等の整備、法令遵守の重要性を教職員、学生へ周知徹底している。 ・道路交通法を遵守する目的で、交通安全に関する研修会の実施と教職員に対してアルコールチェックを周知徹底している。 ・社会の法令を踏まえ、本学及び本学が所属する福岡学園において、就業規則・字別・大学運営上必要な規則や細則、及び運営体制等を制定し、周知徹底している。 ・大学教育として保健師助産師看護師法等、看護職者に必要な法令に関する教育を実施している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○	○		・大学理念及び目標について教職員に周知徹底し、PDCAサイクルによって教育活動等の大学運営を行っている。 ・学生の自治組織である学友会を設立し、学生が主体的に目標を立てて運営できるように教育体制を整えている。									○	○							
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・危機管理体制を明文化し、自然災害等の事象については、災害訓練の実施など具体的なリスクマネジメント及び危機管理を実施している。									○	○	○	○	○	○	○		